

大島地区学校適正配置に関するアンケート (保護者対象) 結果報告

一、アンケートの概要

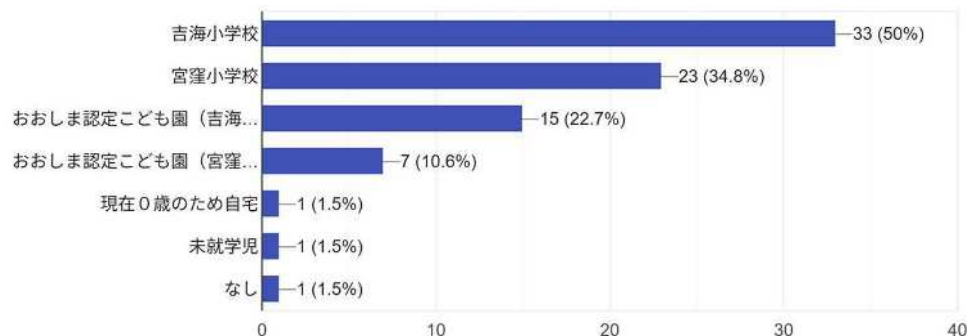
1. 実施期間

令和8年7月2日（木）～令和8年7月10日（金）

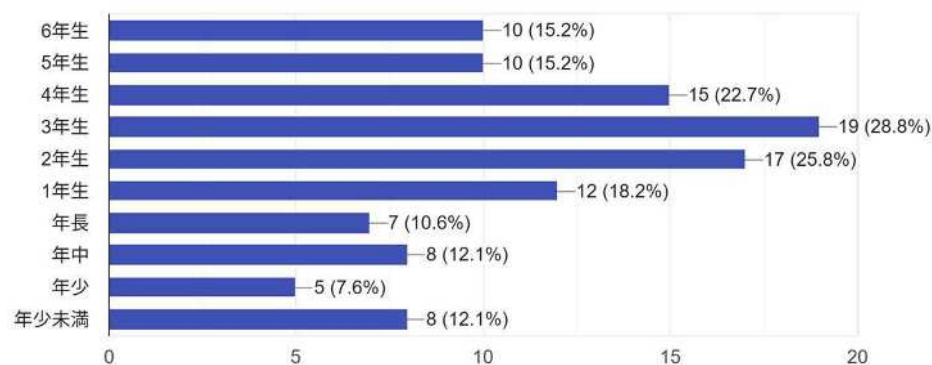
2. 回答人数（回答率）

※重複回答した可能性あり。

吉海小学校保護者	33世帯/32世帯	103.1%
宮窪小学校保護者	23世帯/39世帯	59.0%
おおしま認定こども園保護者（吉海地区在住）	15世帯/18世帯	83.3%
おおしま認定こども園保護者（宮窪地区在住）	7世帯/12世帯	58.3%
その他未就学児	3世帯	



3. 回答した家庭にいる児童生徒の学年の分布



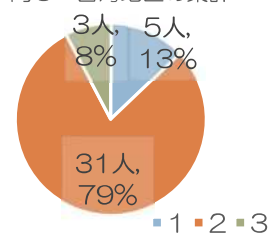
二、設問ごとの回答について

問3 学校統合は必要だと思いますか。

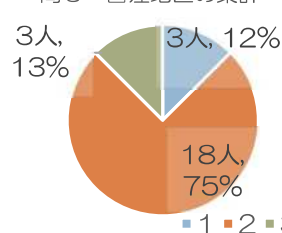
回答 ※宮窪小に児童が通う吉海地区在住者は、吉海地区で集計 (人)

項目	吉海地区	宮窪地区	年少未満	合計
1.必要だと思う	5	3	1	9
2.やむをえないと思う	31	18	2	51
3.必要ないと思う	3	3	0	6

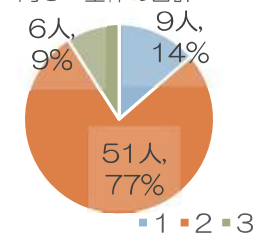
問3 吉海地区の集計



問3 宮窪地区の集計



問3 全体の合計



問4 問3で「必要」または「やむをえない」と回答した理由を教えてください。

回答 (人)

項目	吉海地区	宮窪地区	年少未満	合計
1.子どもたちの教育環境向上のため	21	17	1	39
2.多様な友達や大人との交流のため	23	9	3	35
3.PTAの活動が行いやすいため	2	1	0	3
4.地域活動が行いやすいため	6	1	0	7
5.学校運営の負担を軽減するため	19	7	1	27
6.その他	3	2	0	5

●その他の意見（要約）

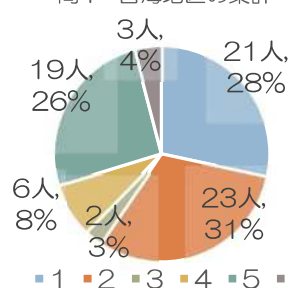
◆吉海地区保護者

- ・少子化に伴い今後の学校存続に必要な為
- ・複式学級は難しい。同時に違う学年の授業をするのは無理がある。
- ・人数減少のため

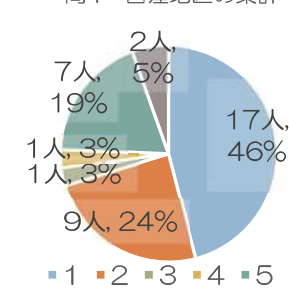
◆宮窪地区保護者

- ・将来的に今よりも子どもが減少した時に、島の学校を残していくため。
- ・統合する事で、教育環境が向上するのであれば、やむをえないと思う。

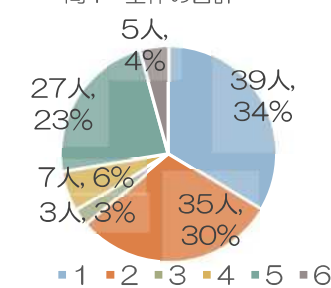
問4 吉海地区の集計



問4 宮窪地区の集計



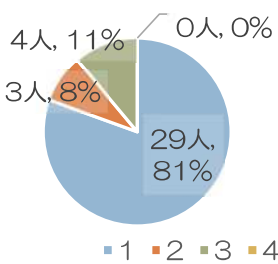
問4 全体の合計



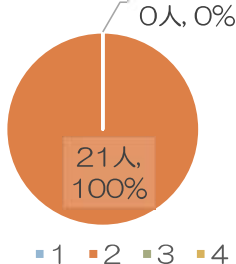
問5 吉海小学校と宮窪小学校の統合先について、以下のうち、どの意見に賛成ですか。
回答 (人)

項目	吉海地区	宮窪地区	年少未満	合計
1.吉海小学校での統合に賛成	29	0	0	29
2.宮窪小学校での統合に賛成	3	21	2	26
3.協議会での結論に任せたい	4	0	1	5
4.その他	0	0	0	0

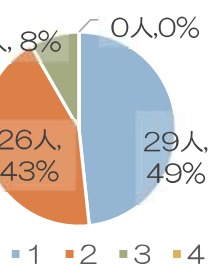
問5 吉海地区の集計



問5 宮窪地区の集計



問5 全体の合計



問6 問5で、そのように回答した理由を教えてください。（自由記述）

回答（要約）

カテゴリ	理由
1.吉海小学校での統合に賛成	・吉海地区に教育施設（こども園・小学校・中学校）を集約することで、被災時の送迎や、教職員や行政による支援、避難所運営などを集約させ、危機管理体制が強化される。専科教員など教育資源を効率的に配置し、近接する給食センターからの給食運搬コストを削減できる。一方で、宮窪地域の活力低下や児童の通学時間増加が懸念されるため、宮窪の地域コミュニティ活動を体験学習に積極的に活用することや、始業時間の見直しなどの対応が必要である。 ・教育機関、企業、公共施設を集約させた方が、緊急時に連携が取りやすい。吉海小に統合の上で、大島全体での地域学習を考えていけばよい。宮窪住民も、買い物等で吉海に来ることも多い。そして、放課後児童教室について、宮窪小学校に統合した時、なぜ学校に設置できないのか。統合するのに、学童だけなぜ吉海、宮窪で分けるのか。説明会での話では合理的な考えと思えなかった。 ・複式学級化を見据え、小中一貫校への移行に適した吉海小学校への統合を望む。吉海は小中連携がしやすく、企業や商業施設が多く、災害時を含め、大人が子どもたちを見守る環境が整っている。また、児童クラブも既存施設を活用できる。統合検討の進め方や説明に偏りを感じるため、教職員や地域の声を十分に反映し、子どもの安全を最優先に再検討してほしい。宮窪小への空調整備を統合理由にしているなら、間違いである。学校の先生たちの声もアンケート集計してほしい。仮に宮窪小学校へ統合する場合は、対処方法について丁寧な説明を求める。 ・協議会の結論には合意するが、吉海小学校へ統合が望ましい。少子化は継続するため、将来、小中一貫化した方が良く、中学校は吉海町にあるため。 ・小、中、こども園の連携が容易、役場と近いので地域学習や学校手続き、行事等がしやすい。災害時に兄弟を一度に引き渡しでき、二次被害を防ぐ。（11件） ・小、中、こども園が近い方が、交流、災害時の連携、体育教師の移動時間の短縮などメリットがある。設置必須の児童クラブは、放課後に移動時間が少ない方が、宿題など済ませた後、校庭などで遊ぶというように、のびのび過ごせる。 ・吉海在住、児童クラブの場所、こども園や中学校と近い、職場から近い、利便性が良い。 ・近隣との連携がしやすい。建物も耐震化され、3階建てで問題ない。現実的に小学校のみが宮窪だと兄弟、姉妹がいる場合に不便を感じる。

カテゴリ	理由
1.吉海小学校での統合に賛成	・家から近い ・大島中学校や高校に向かうための交通や市民の買い物の場所に近く、既存の交通ルートで登校ができ先々の利便が良く、生徒の負担が少ない為 ・吉海小学校は大島の中心部に位置し、教育・運営・地域機能の面から長期的に見て合理性の高い立地である。中学校や給食センターが近接しており、学校間連携の充実や教育の質の向上、給食運営の効率化とコスト削減が期待できる。生活関連施設や公共交通が周辺に集積しており、児童や保護者、教職員の負担軽減にもつながる。これらの条件は、教育環境の安定と地域全体の持続性を支える重要な基盤である。（2件） ・吉海小学校が閉校となると、中心部にある廃校舎の利活用が進まず、地域機能の低下、地域基盤の弱体化を招くことが懸念される。 ・宮窪校舎の新しさ、設備面（エレベーター、温水設備）地盤の強さは理解できるが、統合先決定の主たる理由としては疑問。両校とも耐震基準を満たしており、安全性においても大差ない。 ・中学校と小学校は同じ地区にある方がよい。災害時に、兄弟を別地区に迎えに行くのは現実的に不可能、不便すぎる。命の危機を想定し、地域に学校を残してほしいなどの安易な願望は捨ててほしい。 ・宮窪小学校は土砂災害時に避難所利用できない。宮窪小の方が設備が整っているとあるが、吉海小も新耐震基準を満たしているのも問題ない。 ・もし宮窪小で統合という形になる場合、今治に転居することも検討中。私自身今治市内からの移住なので、客観視した上でも吉海小統合の方がいい。 ・有事の際に行政や小中学校での連携が取りやすい。 ・給食センターが吉海にあるので、宮窪へ運搬する燃料や時間が無駄に思う。 ・今治から通勤する先生が比較的多い。移動距離が少ない方が負担も減る。 ・宮窪小学校は施設が新しく、設備も整っているが、土砂災害警戒区域に指定されていると聞いて少し不安に感じる。 ・土砂災害が最も多い地域で土砂災害の避難所にならない宮窪小学校は、統合先の学校として不適。 ・宮窪になると、地域の社会見学に歩いて行ける所が少ない、遠足で歩いて行けて遊べる公園がない、遊具が少ない（ロケット遊具・ターザンロープが人気）、校庭が狭い、こども園、中学校と連携がとりにくい。 ・教員不足の今、中学校教員の協力場面もあるため、中学校は近くにあるべき。 ・給食センターが近いため、運搬コストを下げられる。 ・吉海小は小学校機能しかないが、宮窪小は施設として利用できるように作られている。 ・あえて小学校だけを宮窪に離す必要性を感じられない。こども園、小学校、中学校および役所病院その他施設が揃っている方に集めるのが望ましい。 ・中学校も近いし、もともと遠い家からも近い ・小学校と中学校の教員や設備の共有で教育の質を確保するため。 ・災害等の緊急時に子どもを迎えに行く場合、一箇所の方が子どもをすぐに迎えにいけるため。 ・給食センターが近く、効率的。 ・今後、小中一貫への移行がしやすいため。
	・中学校も吉海だから。（2件）・・・重複回答の可能性あり

問6 問5で、そのように回答した理由を教えてください。（自由記述）

回答（要約）

カテゴリ	理由
2.宮窪小学校での統合に賛成	・こども園、小学校、中学校の全てが吉海になると、宮窪に住んでいるのに宮窪の地域のことを知る機会がない。 ・こども園、小学校、中学校の全てが吉海なら、宮窪に住んでいるメリットがない。スーパーや銀行もないので、誰も宮窪に住まなくなってしまう。 ・地盤や建物の安全面を考慮して ・校舎が新しく、耐震強度や設備が整っているから ・校舎が新しくバリアフリー ・施設が新しくてきれい/設備が整っている。（2件） ・建物の耐久性 自宅からの近さ ・宮窪小学校の方が校舎が新しい。 ・全て吉海に統合されて寂しい。 ・こども園を統合した理由が、宮窪の方の老朽化が原因だと説明されたので、その理由であれば小学校は宮窪にすべきだと思った。 ・大雨など降ると吉海小学校付近は浸水したり危険。 ・なんとなく ・宮窪小学校は築20年末満の為 宮窪小学校にしないのなら統合する必要無い。 ・校舎が新しく、バスも既存路線を使えるから ・中学校は吉海地区にあり、双方の地域文化を子どもたちに伝えるためには、双方の地域に学校を配置するのがよいと考えるから。 ・子供達が成長していく上で、地域の協力は不可欠。吉海に集中してしまえば、宮窪側の協力は難しいのでは？ ・宮窪のこども園と中学校は吉海に統合になり、小学校まで吉海に統合になると、宮窪地区の歴史や文化を学ぶ機会がなくなるのが寂しい。宮窪に残りたいから。 ・宮窪小学校の方が建物も新しく、環境も整っているから。全部吉海で固めるのではなく大島として宮窪に学校があった方が両地域の交流にもなると思う。 ・宮窪町に子どものいる教育施設を小学校だけでも残したい。 ・宮窪小学校は施設が新しく設備が整っており、かつ耐震性も高いため。 ・こども園、小学校、中学校の全てが吉海になると、宮窪から子供の声が聞こえなくなりそう。また、宮窪の地域の方々との交流も減ってしまう。 ・宮窪小学校は、施設が新しく広々としていて使いやすく、耐震構造や地盤の強度は吉海小よりも安全。大人の利便性よりも、子どもたちの命を守ることを最優先したく、より安心感が得られる校舎を選ぶべき。また、小学校が宮窪、中学校が吉海なら、小中を通じて、大島全体のことを学び、理解することができるが、吉海に偏ると、吉海の子たちは宮窪のことを深く学ばないまま、高校で外に出ていく。宮窪住民としては寂しくもったいないため、互いの地域の魅力を知り、理解して欲しい。 ・利便性を思えば吉海が良いが、こども園と立て続けに小学校も吉海へ統合すると、宮窪から子どもの声が消えてしまう。お店もなく子どもの声も消え活気がなくなってしまえば、宮窪からの人口流出は避けられない。吉海と宮窪はそれぞれ異なる魅力を持っているので、子どもたちの成長の過程で、各地域に身を置いてもらいたい。 ・宮窪に学校を残したい ・宮窪に子供がいなくなるから（2件） ・島の経済エリアが吉海に集中しており、地理的にも中心に位置する吉海が利便性という意味では適していることは理解している。 - その上で、島全体のバランスを鑑みると、こども園と中学がどちらも吉海側にあり、人口比を考えても宮窪側に何もなくなるのは島民の意識として寂しく感じる。 - 宮窪側としては、吉海の子どもたちが宮窪側に登校してきた際は「大島の子」として分け隔てなく歓迎し、大切にしていける意識をより高める必要がある。 - まだ綺麗な校舎は避難所としても有益であるので、今後も利活用もお願いしたい。 ・皆と楽しく学べるから。

カテゴリ	理由
3.協議会での結論に任せたい	・どちらに統合されてもそれぞれの良さがあると思う ・自分は宮窪地区在住だが、在校生は吉海地区在住が多いと思うので吉海もありだと思える。 ・耐震性を考慮するのであれば、今後の財政負担も考えて宮窪小学校でもあり、中学校は吉海なので、小学校は宮窪という意見もわかる ・協議の決定に、従うべきだから ・まだ小学校に行っていないので、どちらの良さなど判断が難しい ・まだまだ様々な問題点も出てくるのではないのかと思うので、今すぐ決めかねる。

問7 問3で「必要ない」と回答した理由を教えてください。（自由記述）

回答

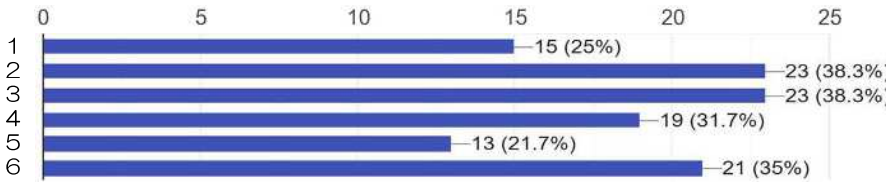
- ・それぞれの地域性を活かした学びを大切にしてほしいため。
- 統合すると少なくとも妥協点がうまれる。
- ・そもそも何故統合するのか説明が無い。
- ・環境が変わることが難しく、今のままの慣れた学校生活を送らせたいから。
- ・通学の長距離化で、子どもたちや親の負担が増す。
- 新しい人間関係になじめず、精神的な疲労や不安を感じる子も中には出てくるかもしれないので、本当に子どものためと思うなら、小規模のままでいいのではないかなと思う。
- ・地域でございたい。
- ・何も問題に感じない。

問8 統合をするにあたって、不安に思っていることを教えてください。（複数回答可）

回答

項目	吉海地区	宮窪地区	年少未満	合計
1.子どもに先生の目が行き届かなくなりそう	10	5	0	15
2.子どもにとっての環境が変わることに不安がある	14	8	1	23
3.学校が遠くなり通学に不安がある	17	5	1	23
4.送迎や、何かあったときにすぐに向かえないと感じる	17	2	0	19
5.学校の伝統や、大切にしてきたことがなくなってしまう	5	7	1	13
6.閉校になる方の学校跡地の活用方法が気になる	13	5	3	21
7.その他	5	3	0	8

- その他の意見（要約）
- ◆吉海地区保護者
 - ・なし（2件）
 - ・特になし
 - ・児童クラブの設置存続
 - ・同学年で問題児がいると聞くから
- ◆宮窪地区保護者
 - ・特にない
 - ・制服の変更等
 - ・もし、宮窪側になるのであれば不安は減るが、とにかく教育に力を入れてほしい。



問10 統合までには、学校行事の合同開催などによる児童同士の交流期間（統合準備期間）を設けることが想定されます。

統合対象校同士の交流事業で希望することはありますか。（自由記述） 例：合同運動会、交流授業、保護者交流会など

回答（要約）

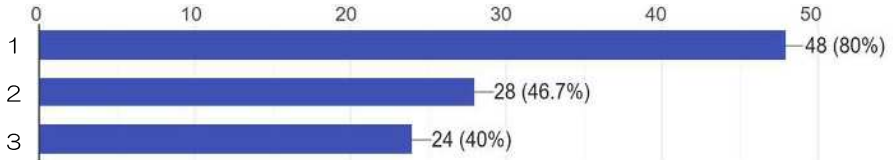
- ・交流授業（10件）
- ・交流授業参観日（2件）
- ・交流会
- ・合同運動会（7件）
- ・リモートで合同授業
- ・同学年同士の授業
- ・保護者交流会（3件）
- ・合同遠足（2件）
- ・合同持久走大会
- ・合同親子活動
- ・合同行事（遠足、お互いを紹介しあう会など）
- ・統合前に十分に仲良くなっておくこと。数回限りではなく、時間をかけて、合同授業・合同給食・合同遠足・作品づくりなどを継続的に行ってほしい。
- ・保護者交流会については、働いている家庭も多いことから、回数は必要最小限とし、児童同士の交流を優先してほしい。子どもたちが吉海・宮窪の区別なく楽しそうに過ごしている姿を見ることが、保護者にとって何よりの安心につながる。
- ・保護者の必要なさそうと感じる
- ・例にあげているもの全て。吉海側がどう感じるか不安。

問9 統合前後に、子どもたちのこころのケアについてどのような配慮があれば安心できますか。（複数回答可）

回答

項目	吉海地区	宮窪地区	年少未満	合計
1.学校統合前の教職員を統合校にバランスよく配置	28	17	3	48
2.スクールカウンセラーの配置（心理的専門知識を持ち、児童の相談や心のケアを行い、教職員や保護者に助言・援助を行う。）	18	8	2	28
3.統合コーディネーターの配置（統合をスムーズに進めるための学校間の連絡調整役）	16	6	2	24
4.その他	4	0	0	4

- その他の意見（要約）
- ◆吉海地区保護者
 - ・統合前の段階から、両校の交流する時間を設け仲良くなるための時間を作ってほしい。お互いの学校を行き来しながら授業を行う日を設けるなど。
 - ・市の関係者の教員生徒の負担ケア。学校だけに任せず市が責任もってみてほしい。
 - ・統合する事を子供たちに“良くない事”の印象を与えるのではなく、“これからより良く過ごすための工夫”として受け止められるように保護者、先生などが伝え方を考える。
 - ・統合後の教員生徒のケアを市がしっかり対応してくれるのか。現場に丸投げではなく誠実な対応してくれるのか。



- ・交流授業や遠足などでの交流。吉海、宮窪小学校への生徒同士の施設訪問など。子供たちにどちらの施設が良いか投票してもらってもいいかもしれない。
- ・それぞれの地域の特色ある授業を合同で行う。（地域の紹介も兼ねて）吉海だったらバラ公園のバラ観察や剪定、宮窪だったら宮窪漁協の稚魚放流や櫓漕ぎ体験など。石文化で合同運動会もしくは、吉海と宮窪を春、秋に分けるなどしてそれぞれの運動会で合同開催もしくは招待(1.2種目一緒に競技をする)
- ・まちなか探検学習とふるさと学級を共同でやるなど、すでに交流の取り組みは行われており、習い事での交流もある。先生方やPTAの負担が少なくなるよう、実施するにしても小規模なもので十分な気がする。
- ・あまり必要ない
- ・吉海小学校に統合してもらえなければ、交通ルート整備など諸経費などについての具体的な対策や施策を早期開示してほしい
- ・まずは、保護者が預けやすさ、仕事に支障がない送迎の体制が大事。その選択肢がこのアンケートにまったく書かれていません。

問11 統合後の学校に整備してほしいこと（継続を含む）は何ですか。（複数回答可）
回答

項目	吉海地区	宮窪地区	年少未満	合計
1.校舎の修繕・整備	20	7	1	28
2.通学路の安全確保	27	12	3	42
3.避難所としての機能の充実	16	10	3	29
4.その他	6	1	0	7

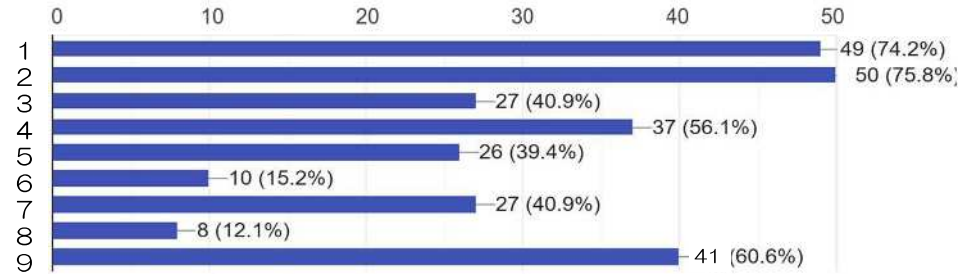
- その他の意見（要約）
◆吉海地区保護者
- ・なし
 - ・プールを直してほしい
 - ・老朽化に目を向けるなら、小中一貫などは不可能でしょうか？
 - ・先日、宮窪で包丁を持った人が逮捕されたニュースがあった。警察の見守り等、防犯面についても力を入れてほしい。
 - ・児童クラブ(校内の設置)
 - ・通学にかかわる保護者負担を軽減措置
- ◆宮窪地区保護者
- ・宮窪なら特にないと思う



問12 大島地区の小学校を魅力化するため、力を入れてほしいことを全て教えてください。（複数回答可）
回答

項目	吉海地区	宮窪地区	年少未満	合計
1.地域の特色をいかした体験型学習	26	20	3	49
2.少人数環境をいかしたきめ細かな指導	28	20	2	50
3.学習アシスタントやALTを配置する	19	7	1	27
4.基礎学力の向上	21	14	2	37
5.中学校との連携強化（専科教員による訪問授業など）	20	6	0	26
6.ICTを活用した教育（他校との遠隔合同授業など）	7	2	1	10
7.他学年や他校との行事、グループワーク、交流活動	9	16	2	27
8.他学区、他市から児童を呼び込み	4	4	0	8
9.地域との連携した学校づくり	22	16	3	41
10.その他	2	1	0	3

- その他の意見（要約）
◆吉海地区保護者
- ・児童クラブの継続。共働き家庭にとっては不可欠。また大島には国内外から多くのサイクリストが訪れ、子どもにとって海外の方を身近に感じられる恵まれた環境にある。その地域性を生かし、英語学習や国際交流にこれまで以上に力を入れると、大島ならではの魅力ある学校づくりにつながると思う。
 - ・自然との触れ合い、少人数だからできる各分野のプロフェッショナルを招いた特別教育、お金の教育など社会に出て役立つ教育
- ◆宮窪地区保護者
- ・自分で考えて、発言出来る環境や、英会話など、身近に感じられる環境を



問13 統合の不安を解消するためにしてほしいこと、大切にしてほしいことや、これまでにに行っていることで残してほしいこと、特色化・魅力化のアイデアなど、自由に意見をお聞かせください。（自由記述）

回答（要約）

カテゴリ	理由
不安を解消するためにしてほしいこと	・命の危機に子どもが安心して避難できる場所、安全に保護者に受け渡しができる状況を作してほしい。 ・統合は少子化の課題解決だけでなく、市の管理が容易であることが前提であるはず。統合後に学校任せにならず、教員生徒の不安・負担を市が現状把握・課題解決に誠実に取り組んでほしい。 ・バス通学の便の多さ。緊急で迎えが必要な時の対応。 ・大島地区は吉海と、宮窪と2つの地域から成り立ってる事を忘れないでほしい。 ・こどもたちの「命を守る」ことを第一に。 ・バス通学で、朝早く家を出たりする子のケア ・地域の人との連携は大事にしてほしい。避難訓練など地震、津波のとき子供たちはどう行動しているのかしっかり教えてほしい。 ・統合後の教員生徒負担が増えることがないよう、統合提案した市が統合後のケアをしっかりすること。学校に足を運んで課題がないか調べ、あれば適切に対応すること。 ・吉海小学校での児童クラブ 子どもを預けるところがないと、仕事ができない。 地域ごとで責任者が必要になるなら、宮窪では責任者になれる人がいないと思うので、児童クラブを開設できないのでは。小学校で運動場や遊具でのびのびと過ごさせたい。吉海小学校で過ごしてそのまま児童クラブに行かせたい。 ・バス 吉海は増便にならないと言うが、今の時間より早くなるのは子どもにとって負担になるし、乗っている時間も長くなってしまう。 ・中学校との連携 吉海小なら、中学校の先生も隣なので来てもらえるし、認定こども園も吉海になったし、吉海の方がいい。 ・避難訓練 認定こども園、小学生、中学生合同でしている。助け合えるのがいい。造船所もあり、何かあった時助けてもらえる大人が近くに沢山いるのは親にとって大事。 ・体育館に冷房を設置してほしい。 ・統合するのであれば宮窪小学校を統合校としてほしい。新しい環境によって子供たちの不安がうまれると思うのでメンタルケアもしっかりしてほしい。今までにしていた学校行事などもどうなるか不安の保護者もいると思う。何事に関しても迅速に明確に連絡してほしい。 ・生徒の登校についての負担や統合による学習や精神的な負担や不利がないように既存の学校形態をなるべくは続けるようにしてほしい。
これまで行っていることで残してほしいこと	・校庭で遊ぶのが好きで、吉海小のターザンロープやロケット遊具は残して欲しい。 ・宮窪地区の水軍太鼓のクラブを残してほしい。 ・吉海、宮窪それぞれの地域を知る活動(バウ観察や稚魚放流など)を続けてほしい。それぞれの地域の特色を絶やしてはいけないという思いを赴任される先生にも理解していただきたい。 ・水軍太鼓と部活動は続けてほしい。

カテゴリ	理由
大切にしてほしいこと/特色化・魅力化のアイデア	・子どもたちの学校生活がより良いものとなるよう、保護者同士寄り添い話し合い、素敵な環境づくりができること。 ・吉海、宮窪の両地域の良さに触れ、学ぶための横断的な交流の機会をもっと増やしてほしい。授業で地域のローソンやライフを訪問した体験学習は、子どもたちがとても喜んでた。地域の商店や企業を訪ね、働く人のお話を聞いたり、まちを知ったりする経験は、机上の学習では得られない貴重な機会になる。特に大島には造船業や柑橘農業、漁業といった業種が特徴的なため、地域資源を生かした体験型学習を充実させてほしい。 ・大島全体及び各地区について歴史を学んで地元に誇りをもてる教育をさらにすすめてほしい。 ・島四国など大島の文化を大事にした教育 ・地域を巻き込んだ活動、イベントをたくさんして欲しい。子どもの家族や保護者だけでなく、地域のみんなでも子育てしているのだという認識になるのが理想。 ・大島全体が一つになり、島民全員で子どもたちを育てていく気持ちを高めていきたい。 ・島四国遠足 ・ふるさと学級、海洋クラブ、学習交流館での発表、金管バンド、お遍路さんなど、統合しても変わらず行って欲しい。都会から移住してきたが、島嶼部の魅力が沢山詰まった行事に驚いた。成長過程で、とても大切な温かい教育を受けられる環境があがたい。 ・合併前でも、宮窪の子も海洋クラブに参加できるようにするといい。
統合協議に関すること	・通うわけでもない大人の意見や地域のしがらみなどは必要ない。 ・宮窪、吉海と統合にあたり意見を交わすことでお互いの地区の良いところを知れたらいいと思う。 ・学校が無くなるということはその地域の過疎化をさらに進めてしまう。学校がない地域に今後新しい世代が新規で入ってくる事はほばない。統合自体が反対なのでこれ以上の意見はない。 ・統合が決定する前の段階で宮窪に決定しかけている、と誘導するような声掛けは控えてほしい。 ・宮窪小学校の校舎は比較的新しく設備も整っているので、地域ニーズに応じた別用途への転用など、有効活用の余地がある。移住者の増加以上に過疎化が進んでいるため、学校統合は、単純に校舎の設備で判断せず、教育環境の質、運営効率、地域の持続性、島人口の減少推移など総合的に判断するべき。利便性の低い場所への統合は、児童、保護者、教職員など関係者全体の負担につながり、長期的には地域全体の活力低下を招く可能性がある。全て吉海町に集約されても、宮窪の児童が自分の町の文化や伝統に触れる機会は、学校立地に関係なく、教育課程や地域連携の工夫により十分に継続、充実させ、さらに多様な学びの機会を創出することもできる。引き続き、丁寧な説明と慎重な検討をお願いします。 ・互いの地域を蔑んだり、親の都合や利便性を優先するのではなく、子どもたちがより安全で充実した学校生活を過ごせるのはどちらの校舎なのか、という視点がお互い納得するためには大事ではないか。 ・統合で子供同士が仲が悪くならなければ良いと思う。子供の前であまり互いのダメな点を言わない方が良いかもしれない。まだ決定していないのに、宮窪の人に、宮窪に決まったと言われ戸惑っていた。宮窪案で提出された資料が誤報に繋がる。両案を両学校に提出するべきだったと思う。 ・どちらの学校になっても、地域との交流は続けたら良い。子供がいなくなって寂しいとの声も聞くが、吉海から宮窪に遊びに行く事も出来るし(逆も然り)全く子供がいけないことは無い。安全面なら宮窪かと思うが、大規模な津波ならどこにいても同じと思う。災害時に吉海と宮窪を行き来するよりは、近くにいた方が負担も少なく、市内への橋も近く、スーパーやコンビニがある吉海の方が良いと思うが、様々な理由があるのだろう。 ・強いひとの声だけでその他多数の意見が蔑ろにされない事を望む。